

台風被災フィリピンへ県 県民の善意伝えたい

貯水用タンク340個発送

9月下旬から相次いで台風の豪雨に見舞われたフィリピンの被災地支援のため、県は10日、公設国際貢献献体大学(新見市)のボランティア組織「ももたらろ国際救援隊」を通じて、避難所の給水などに使う貯水用タンクを提供した。約1週間でマニラ市などの被災地に届けられる。

支援活動に当たっている国際移住機関(10M)マニラ事務所から要請を受け、同校が用意したタンクと合わせ容量10リットルと20リットルの計340個(5800リットル)を発送。岡山空港(岡山市北区日応寺)にある県の救援物資備蓄センターから、隊員らがトラックに積み込んだ。



救援物資の貯水用タンクをトラックに積み込む隊員ら

作業前に古矢博通副知事から目録を受け取った同校の的野秀利校営管理者は一現地は390万人もが被災し、衛生状態も非常に悪い。県民の善意を伝えたい」と話していた。同センターからの救援物資提供は11回目、2008年5月の中国・四川大地震以来。